

任意団体 グリーン購入ネットワーク

フィリピンの中小企業を対象にした グリーン購入キャパシティビルディング

イベントの 延べ参加者数	110人
活動に対する 問合せ件数	4件
活動の全体目標 に対する達成度	70%



第2回ワークショップの様子

◆成果と工夫したポイント

●成果

アンケートの結果、参加者は講義内容、講師陣、研修の実用性について満足していることが分かった。また、PCO認定のための研修プログラムにSCPを加えることになり、新たなモジュールの作成が進んでいる。

●工夫

企画段階から関係機関を巻き込んだこと、2回目のワークショップの参加者を潜在的指導者に限定したこと。

課題

全企業に配置が義務付けられ、企業の環境管理に直接携わる環境規制担当者(PCOs)の研修内容に、持続可能な消費と生産(SCP)に関する項目が含まれていない。

目標

- ・PCOsのSCPに関する知識・スキルが向上するとともに、研修の成果を企業の環境管理や環境方針に反映する基盤づくりが進む。
- ・フィリピン国内で研修モジュールの活用が検討される。

活動内容

- ・8月に活動実施団体と関係機関によるインセプションワークショップを開催し、活動目的と各機関の役割を確認した。
- ・9月に第1回キャパシティビルディングワークショップを実施し、SCPの概念や手段、環境ラベル、グリーン購入、ライフサイクル分析について学んだ。2日目はSCPを実践しているタイ工場を見学した。
- ・3月の第2回ワークショップは普及効果を上げるため、潜在的指導者に対象者を絞って実施した。

達成できなかったこと

参加者の多くはSCPについて学んだことを活かし、各々の組織で研修モジュールを活用したいと考えているが、活動期間が短く個別指導やフォローアップができなかった。

今後の展望

これまでのような資金面での支援ではなく、専門家の派遣や日本の知見の情報提供を通じて支援を継続したい。



現地ステークホルダーによる最終報告書の表紙